

いじめ防止対策年間計画 第4学年

内容/月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事		○山の学校			○運動会	○附小まつり				○なわとび大会	○学習発表会
特別活動	学級活動 ○学級目標作り ・学級目標を考える際、どんなクラスでありたいか人間関係作りについても話題にし話し合う ○学年集会 ・挨拶の励行・仲間作り等について学年全体で意識付けを行う	○山の学校へ向けての学年集会 ・山の学校の目的や主な活動内容・役割分担の決め方などを伝える								○人権週間の取り組み ・児童会を中心にいじめや人権について考える取り組みを行う	
日常生活	○席替え・様々な人と関わることで成長できることを伝え、誰に対しても、相手を認め仲良く過ごせる心を養う ○学習中の話し合い活動・相手の考えを最後まで聞いたり、自分と違う考えでも尊重したりする態度を養う										○なわとび大会へ向けての練習では、仲間同士アドバイスし合ったりして体力の個人差をカバーしたり、なわとび技術の向上を図ったりする
チェックシート アンケート 教育相談 等	○心の健康観察 ・心の健康状態についてのアンケート	○いじめチェックシート ・いじめに関するチェック項目について自己診断し状況把握を行う	○児童教育相談 ・児童一人一人と担任が話し心配や不安について把握する			○いじめチェックシート ・いじめに関するチェック項目について自己診断し状況把握を行う				○いじめチェックシート ・いじめに関するチェック項目について自己診断し状況把握を行う	
道徳			○「貝がら」(文溪堂) ・違いを認め、友達と助け合う心について話し合う				○「絵はがきと切手」(文溪堂) ・友達のことを理解して助け合う心について話し合う		○「お魚大好き、さかなクン」(文溪堂) ・自分の個性を大切にする心について話し合う		
各教科	【国語】○グループで話し合う際、一人一人の意見を大切にすることで自分の考えが広がり豊かになることを伝え、友だちとの関わり方をよく観察し、全員が偏りなく関わられるよう声かけをする（話し合いの場面） 【算数】○問題が早く解けた児童から「丸つけレンジャー」になり、友だちの解答に丸つけをして回ることを通して色々な友だちと互いに関わりをもつことができるようにする（問題を解く場面） 【図画工作】○作品の取り扱いについて、作品=「もう一人の自分」であることを伝え、作品を大切にする気持ちをもつことができるようにする										
					【体育】 ○運動会練習 ・体力の個人差を戦いでカバーし合う仲間作りや練習を通して仲良く協力することの大切さや喜びを実感する				【音楽】 ○学習発表会に向けて合奏練習 ・役割を分担し、パートリーダーを核として助け合いながら練習する		
総合的な学習	○山の学校へ向けて ・みんなが楽しめることを意識してグループを作ったり計画を立てたりし、協力して活動に取り組む							○「おばけばけ附小まつり」 ・お客さんの立場に立って考え、みんなに楽しんでもらえるようなお店を学級全体で協力しながらつくる			
外国語活動											
地域・家庭との連携	○家庭訪問 ・保護者に児童の様子や心配・不安を聞く	○山の学校研修講座 ・「山の学校」の意義を説明すると共に、自分も友だちも大切に育てる態度の育成について家庭への協力をお願いする		○個人懇談 ・保護者児童の様子や心配不安を聞く				○学級懇談 ・参観授業後の学級懇談で学級の様子を知らせ、心配なこと等について話し合い共通理解を図る	○個人懇談 ・保護者に児童の様子や心配・不安を聞く		○研修講座 ・心の発達に伴い情緒の不安定な時期に入ることを話し、友だち関係の悩み等にも励ます等肯定的な対応をお願いする ・養護教諭から心身の発達・変化等について話し、保護者の理解を促す
※年間の参観授業の中で1回は人権に関わる内容を扱う											